

令和7年度 第9回短歌の里

とうろう 広丘夏まつり 灯籠短歌大会

入賞歌一覧

★今年の投稿歌は832首ありました。その中から69首の入賞歌の選出と、各部門の「最優秀賞」と「優秀賞」を決める審査は、塩尻市広丘堅石在任の歌人である小澤婦貴子様にお願いました。
なお、69首を選出する理由は、短歌を貼ることができる「灯籠の面」の数です。(灯籠23個×3面＝69面)

★入賞歌69首から最優秀賞と優秀賞を除くと52首になります。その52首を広丘商工会の塩原正幸会長、広丘公民館の宮田幸恵館長、塩尻短歌館協会の新倉文雄会長の3名に審査していただき、「審査員特別賞」1首、「ユニークな名前の特別賞」24首、「佳作」27首が決まりました。

★入賞作品は、広丘駅前商店街の十二ひとえ街路灯に取り付けられた灯籠に貼ってあります。短歌は東京都大学塩尻高校書道部、塩尻志学館高校書道部、田川高校書道部の皆様に書いていただきました。



令和7年8月14日

塩尻短歌館協会

塩尻短歌館

【大人経験者部門】

最優秀賞

白桃の皮をむく時君の手はやさしいんだねと夫はつぶやく

広丘吉田 松本恵美子

優秀賞

舌足らずなうぐひすの声ホ、ホケチヨ見えぬ姿にエールを送る

大門 折橋玲子

草刈り機うならせ倒す夏草の一振りごとに風の道つく

徳島県阿南市 渡守一恵

その根気に感心しきりで賞

来む冬のためと夫は薪作り 切る運ぶ積む根気のありて

松本市 久保田和枝

なぜこんなに親しげなので賞

擦り寄れる猫をお供に草を引く何処ぞの猫か存じ上げぬが

広丘堅石 二木思水

【大人はじめて部門】

最優秀賞

おぼろ月もうめくられぬ歳時記が父の書棚で静かに眠る

八十二銀行 武居 恵

優秀賞

えんぴつが短くなると増えていく一年生の書けるかな文字

松本市 折野美子

草の間に誰を待つのか蛍の火ひとりぼっちも美しい夜

八十二銀行 原 理恵

審査員特別賞

菓子求め「ぎゅーして」の手に顔緩む用が済んだら立ち去る息子

長野銀行 羽多野美香

佳作

片手でもすっぽり包めた吾子の足今では同じ靴サイズかな

広丘吉田 高津絵美

雨上がり濡れたあじさい横に見て今日もてくてく柴犬さんぽ

八十二銀行 北川絵美

田に植えた稲がすくすく育つようかえるの合唱応援歌だね

八十二銀行 小岩井佳代

【子ども小4以下部門】

最優秀賞

ぼくですよドラゴンししゅうのランドセルきいろいぼうしでげんき100ばい

広丘小1年 三村健太

優秀賞

こうえんだ母とおにごっこ父もおいかけかけたのはねへとへと父だ

吉田小2年 名取裕希

一輪車でドリフトできたうれしな自慢できるぞもつと練習

吉田小3年 小林奏翔

うちの猫私のことを妹と知っているよ3才なのに

広丘小4年 花岡芽依

弟のほっぺさわるとぷにぷにださわりすぎるとプンプンおこる

吉田小4年 都築優太

ゴールまで軽やかに駆け抜けるで賞

かけっこでゴールの先まで見てははる風のようにねビュンビュンとねー

広丘小2年 北 悠人

おしゃれなめがねができたで賞

どうぶにめがねつくつてたのしいないろもぬったよてづくりめがね

吉田小2年 上條 蘭

あなたの歌も楽しいで賞

夏まつりみんなのたん歌はられるよどんなたん歌か楽しみなんだ

広丘小3年 花おかりよういち

熱い食しホで賞

交流で給食食べたまじうまい山賊バーガー食感たまらん

吉田小3年 梅田朝陽

何ともすごい高さで賞

みんなでねスカイツリーに登ったよ車やビルがミニチュアみたい

吉田小3年 西まきあやと

友だちって素晴らしいで賞

車いすおしてくれたし当活も変わってくれたみんなありがとう

吉田小4年 川村陽人

どこに飛び立ちたいで賞

自由ってもしこの私が鳥ならばここから自由に飛び立つことだ

吉田小4年 ラバホアビー

忘れられない事件で賞

土曜日に焼きそば食べて事件あり焼きそばすべてゆかにこぼした

吉田小4年 ハットリーハーヴィー心和

にらみがきいたで賞

よーいどんピストルの音パンとなるハードルにらんでタッタタッピョーン

合唱曲になりそつで賞

心から音楽たちと通じ合う音楽会は一つの扉

吉田小4年 赤羽柚寧

佳作

たのしみだうんどうかいでかいぞくのげきをやるんだなみをつくるぞ

吉田小2年 小松莉子

日曜日はちのす2こねみつけたよちよつとこわいよはちがいるから

吉田小2年 田中玲音

ゆるるふねびゅんびゅんゆるるバイキングななかいのつたすくたのしい

吉田小2年 塚原蒼翔

春休み空の果てまでこいでゆく真つ赤な夕日に進む自転車

吉田小3年 松永拓晃

そろそろだ家のたてかえかたづけだ六月十日かいた日だ

吉田小3年 榎本智咲

見どころは竹リレーだよみんなでさコーンのまわりぐるぐる回る

吉田小3年 上條夏緒

雨の音とぼとぼ言っただよ！ 感動したよいい音だった

吉田小3年 櫻井瑛太

体育ではんぶくよことびやっただいっばいとんだびよんびよんと

吉田小3年 百瀬梨心

やっと来た読書週間バンザイだ本を熟読パライソへGO!

吉田小3年 川井美桜

じてんしやをどんどんおすぞたいへんだともだちのれないだからおしたんだ

吉田小3年 五味花明

カブクワを調べたんだよ昼と夜夜行性だよ賞をもらえた

吉田小4年 平林亮人

無言でねキラキラ掃除目指してる心と学校すっかりスツキリ

吉田小4年 有賀あかり

おにごっこシカのようにねにげまくりきづけばじかんまたやりたいな

吉田小4年 林 大智

音楽会リコーダーをね頑張るぞ一つのサビが上手くできない

吉田小4年 小野陽向

【子ども小5・小6部門】
最優秀賞

立りつに夏それで立夏と読まれるよ夏にも負けずに自分も立りつてる

吉田小6年 吉山侑希

優秀賞

妹の自転車練習見に行った僕より早くマスターしてた

吉田小5年 征矢野陽空

春が来て夏秋冬と変わるんだオノマトペでねサラミンピラシャン

吉田小5年 竹内佑輝

ピンポーンチャイムが鳴ったなんだろう友達来たぞ急にくるなよ

吉田小6年 成瀬歩夢

夏の歌声が美しいで賞

梅雨入りかしくがうたうポロロロ夏が言ってる今いくよって

吉田小5年 臼井愛花

夏だしリラックスしちやいま賞

夏休みゲームにおかし最高だママもいないしなんでもできる

吉田小5年 杉本みなみ

風とお友達で賞

ゴーカート動くと風がすり抜ける「楽しいね。」と言ってるみたい

吉田小5年 川口凜花

今年もまた目に焼きつけたで賞

花火がね今年もさいた夜空にね長くは見れない特別な花

吉田小5年 上田紗希

かっこいい筆さばきなので賞

習字はね太く強くと書くからねかっこよさにじみでてる

吉田小5年 岩垂彩乃

夏を満喫しちゃいま賞

雷や蝉の鳴き声うるさいぞ夏はなんでもダイナミックだ

吉田小5年 林 光希

夏の匂いってどんな感じなんで賞

ポタッポタ音でわかるよ梅雨の音涼風が吹くあ夏の匂い

広丘小6年 阿部暖未

きつと一緒に見ているで賞

ひかっている雨のしずくが落ちてくるかたつむりにもみえてるのかな

広丘小6年 丸山 晴

そのあとどうしたか気になるで賞

六月の大雨の朝気がついた昨日から服干したままじゃん

広丘小6年 御子柴煌己

なんとかやり過ごしま賞

いよいよだ面白くない水泳だ虫も浮いてる全部が嫌い

広丘小6年 片山陽斗

音符が躍っているで賞

音楽が体育館中に鳴り響くそこら中にねいろんな音符

吉田小6年 本間慶多

佳作

数学で自分からやり覚えたよ微分積分異分母計算

広丘小5年 中山晴翔

ビリーブをプロの人とね歌ったよ曲の響きが歌を良くする

吉田小5年 小澤慧大

習字でね道を書いたよすみつけてさあ書いてみようゆっくりまっすぐ

吉田小5年 佐藤未来

組体操上に乗るから怖がらず前を向いて綺麗な形

広丘小6年 増田梨々紗

春が来る虫や花たち喜ぶよだけど自分は春愁秋思

吉田小6年 仁科知香

菜の花は春の訪れ告げる花風に吹かれて小さく揺れる

吉田小6年 鈴木花歩

清明で咲いた桜が穀雨でね散る様とても悲しく見える

吉田小6年 永井 湊

【子ども中学・高校生部門】

最優秀賞

暑い日はアトリエに籠り筆を取る色の世界に溶け込んでいく

松商学園高2年 吉原 嶺

優秀賞

大きめのトマトの皮を剥くときの指先に聴く太陽の歌

松商学園高2年 小池結衣

夏の街が呼んでいるで賞

お気に入りの青いネイルを爪に塗り夏が始まる街へ出かける

松商学園高2年 飯田愛加

佳作

空手部員カバンに付けたお守りがインターハイへとみんなを導く

松商学園高2年 木内いぶき

前日に決まるお泊まり止まらない秘密の話夜もオールに

松商学園高2年 古川さら

六月のみどりの風が吹いてくる見慣れた街が夏を告げてる

松商学園高2年 北嶋 紬